

エネルギー課題を解決します。

- ☐ 効率的な省エネと省コスト実現
- ☐ 逼迫する電力需要に対応
- ☐ 停電・災害時対策
- ☐ 太陽光発電の定期メンテナンス

各種補助金をご利用いただけます。申請手続きまでお任せください!

平成26年度よりソリューション事業本部を新設し、次世代エネルギー事業への取り組みを強化します。電力小売販売の拡大に加え、法人向け省エネ・節電・環境・防災拠点での総合エネルギーサービス事業を、将来の中核事業の一つと位置付け、同事業の推進体制を拡充します。



シナネン 株式会社

〒105-8525 東京都港区海岸一丁目4番22号
TEL.03-5470-7100 URL <http://www.sinanen.com>



植田 和弘さん
京都大学大学院 経済学
研究科教授

北川 弘美さん
富士通総研経済研究所
上級研究員



再生エネには多面的意義が

生産消費者に

北川 ここ数年、再生エネが目立っています。化石燃料などと比べてメリットや意義は、植田 私は常々、再生エネは多面的な意義があると言っています。電源一つひとつは小さいですが、発電技術だけでなくそれをつなぐためたりするICT(情報通信技術)や周辺技術の発展も期待されます。日本が得意とする制御技術などと合わせ、グリーンイノベーションの源になります。

化石燃料は二酸化炭素、原発は放射性廃棄物が出ます。廃棄物の時代と言われますが、電源も廃棄物のなるべく出ないものに変えていく志向を持たざるを得ません。また再生エネ普及は私たち自身が消費者からプロシューマーへ、つまり生産消費者になる革命的なことです。私たちが出資し、私たちに利益還元され、共通財産としての電源に関心が高まり、より良い電源にしていける動きが出てきます。これらさまざまな意義が大きくなるようにしていくことが大事です。

北川 再生エネの固定価格買取制度が普及に一定の後押しをしています。導入から2年が経過した今、現状をどのように評価していますか。

植田 調達価格等算定委員会では日本にとって再生エネ元年を作り出す起爆剤ということにスタンスしています。再生エネは、再生エネの固定価格買取制度が普及に一定の後押しをしています。導入から2年が経過した今、現状をどのように評価していますか。



植田 大変、厳しいところについています。調達価格等算定委員会も、再生エネの普及に一定の後押しをしています。導入から2年が経過した今、現状をどのように評価していますか。

植田 本来、バイオマスはメタリカル利用、熱的に効率を上げるべきだと言われます。電気の買い取りが先になるのはおかしいという指摘を受けましたが、今後の大きな課題ですね。だからといって電気の買い取りを止めてしまえと言われれば、困ります。バイオマスも可能性のあるというポジティブな面を生かす必要があります。実際、熱利用なども考えたプロジェクトも出てきています。ドイツは電気を買い取る時に熱利

オープンに研究できる環境を

議論を深める

北川 今後のエネ政策はどういうプロセスで決まっていこうと良いでしょうか。またその中で我々、研究者の役割はどう考えていこうとしますか。



植田 エネルギー経済学は重要な日本の大学で取り組んでいるところば、とても少ないことも問題です。自由な研究がやりやすい分野になってきたのかもしれない。もっとオープンに多くの人が研究でき議論していただけるようになってほしいです。また研究者の役割という点では、今回の福島原発事故は一研究者

エネルギー新時代

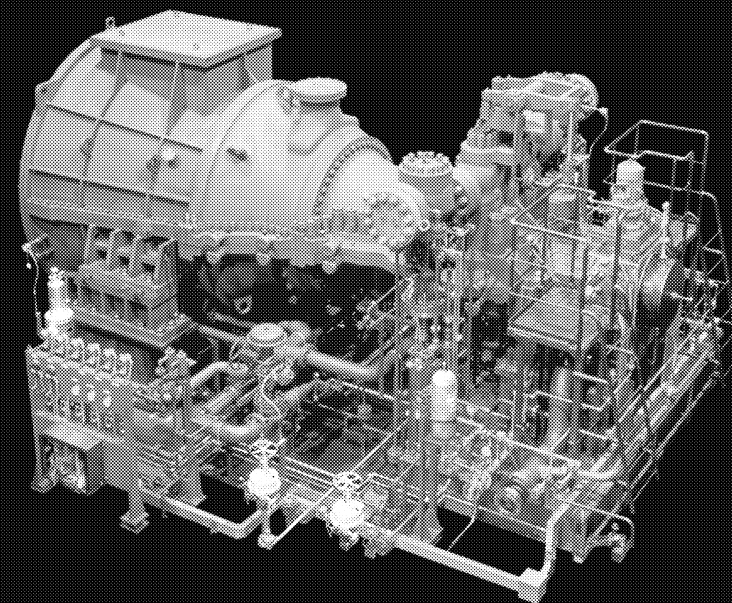
Generating Power for Human Life, SNM

蒸気タービンは、CO₂増加防止に役立つ

バイオマス発電やコージェネレーション発電として、ますます重要性が高まっています。

新日本造機は、蒸気タービンの専門メーカーとして、

半世紀以上に亘り約80カ国へ製品を送り出し続けています。



アメリカ向 67,000kW
軸流排気型蒸気タービン

SNM 新日本造機株式会社

〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
TEL.03(6737)2634 <http://www.snm.co.jp/j/>